

2023年8月4日

各位

会社名 株式会社キャンバス
代表者名 代表取締役社長河邊拓己
(コード番号：4575東証グロス)
問合せ先 取締役最高財務責任者加登住眞
IR@canbas.co.jp

ファルマバレープロジェクトとの共同研究契約（2件）期間延長のお知らせ

当社はこのたび、静岡県が推進するファルマバレープロジェクトに関する2件の共同研究契約の期間をいずれも延長することとなりましたので、お知らせします。

当社は2016年から、公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構（旧称：公益財団法人静岡県産業振興財団）との間で、

「ファルマバレーセンターが有する化合物ライブラリーを用いた創薬スクリーニング」

「静岡県立大学大学院薬学研究院創薬探索センターが有するIDO/TDO阻害剤候補化合物の構造最適化および評価」

の2件の共同研究を進めています。このたび、現在までの進捗・成果、将来の展開に鑑み、これら2件の共同研究契約の期間を2025年3月31日まで延長することとなったものです。

ファルマバレープロジェクト（富士山麓先端健康産業集積プロジェクト）とは、静岡県が県東部地域を中心に医療健康産業クラスターの形成を目指し推進しているものです。公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構（旧称：公益財団法人静岡県産業振興財団）ファルマバレーセンターは、このプロジェクトの中核支援機関です。（ファルマバレープロジェクト ウェブサイト <http://www.fuji-pvc.jp/project/>）

当社が開発中の抗癌剤候補物質CBP501にかかる臨床試験から得られたデータから、CBP501には癌微小環境への働きを通じた免疫系への作用機序があることがわかりました。当社は、この知見をもとに、基礎研究の軸足を癌免疫領域に移し、新たな免疫系抗癌剤候補化合物の探索創出を進めています。その成果のひとつとして、従来用いていた「正常細胞と癌細胞の細胞周期の違いに着目したスクリーニング」とは異なる、新しい創薬スクリーニング系を確立しました。

創薬スクリーニングの共同研究では、静岡県環境衛生科学研究所から提供を受ける化合物ライブラリーをもとに、当社が新しい創薬スクリーニング系を用いて新たな免疫系抗癌剤候補化合物を探索創出することを目指しています。

また、IDO/TDO阻害剤の共同研究では、静岡県立大学大学院薬学研究院創薬探索センターの有するIDO/TDO阻害剤候補化合物の生物活性を当社が検討し、新たな免疫系抗癌剤候補化合物を創出することを目指しています。この共同研究の成果として、[2023年6月6日に公表](#)したとおり、日本における特許が成立しています。

いずれも、当社の中長期的な研究開発の中軸のひとつとなり得るプロジェクトです。

本件による当期業績への影響はありませんが、これらの共同研究から新規候補化合物を獲得できた場合には、創薬パイプラインの拡充など中長期的な企業価値の向上に寄与することが期待されます。

以上